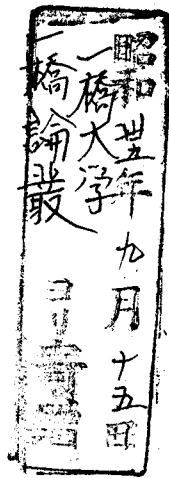


一橋論叢第四十二卷總目次

論 說

工事負擔金の會計機能……………	西川義朗	一號	一頁	通頁
——わ國公益企業會計を中心として——				
利益概念の相對性……………	飯野利夫	一	元	元
效用概念の再吟味……………	久武雅夫	二	一	二〇
ブル代數に擬項を導入することとその應用……………	山田欽一	二	七	二七
不完全積率とその應用……………	鍋谷清治	二	六	二六
チエーホフの小説……………	金子幸彦	三	一	一〇
シェイクスピアの「黒い婦人」……………	富原芳彰	三	三	一三
ブルーストの女性像……………	鈴木道彦	三	四	一四
——愛の崩壊——				
嚴復思想の變遷……………	熊野正平	四	一	二〇
——工業化の過程における雇用と賃金……………	石川滋	四	八	三八
——中國・ソ連の比較に基づく研究——				
不と經濟計算……………	山中篤太郎	五	一	四〇
——日本の中小企業の性格の一の再檢討——				



人口の地理的分布とポテンシャル……………	森田優三	五	一七	四七
——日本人口のポテンシャル地圖——				
人口の發展と雇用問題……………	美濃口時次郎	五	三	四三
二重經濟の一模型……………	荒憲治郎	五	七	四七
地方財政の考察……………	木村元一	五	三	四二
新價保險について……………	加藤由作	六	一	五五
「生存權の社會政策」論争……………	赤松要	六	五	五九
——福田、左右田兩博士論争の回顧——				
價値判斷に關するミューダールの最近の見解について……………	山田雄三	六	四	五八
理論におけるヴィジョンとイデオロギー……………	高島善哉	六	三	五八
メロヴィング王朝における王權の性格……………	増田四郎	六	七	五九
學界展望				
コンスタンティヌス論争の進展(承前)……………	弓創達	二	天	一八
フランク王國史研究の問題點……………	増田四郎	四	四	三〇
——メロヴィング王朝期を中心に——				
海上保險における因果關係の理論……………	木村榮一	六	九	六五
基本文獻解題				
Roy Forbes Harrod: Towards a Dynamic				

Economics, London, 1948	馬場啓之助	一	三〇
Alvin H. Hansen, <i>Monetary Theory and Fiscal Policy</i> , 1949.....	小原敬士	三	二六
井藤半彌著『租税原則學說の構造と生成』.....	木村元一	六	二二
渡邊 進著『棚卸資産會計』.....	番場嘉一郎	一	二〇
Paul Nowak, <i>Kostenrechnungssysteme in der Industrie</i> , Köln/Opladen, 1954	岡本清	一	二〇
ウィリアム・ハラ著『ビュリタン革命における自由と革命』.....	濱林正夫	一	二〇
鈴木英壽著『ドイツ經營學の方法』.....	雲嶋良雄	二	二五
島村哲夫著『鐵鋼經濟論』.....	北原三郎	二	二五
ヤグロム著『情報理論入門』.....	片岡信二	二	二五
井關・西田譯『情報理論入門』.....	高橋克嘉	三	二五
G・ウィリアムズ著『熟練職業への勞働力補充』.....	鍋谷清治	四	二五
G・ティロットソン著『ポーブと人間性』.....	菊池 亘	四	二五
M・G・ケンドール著『多變量解析』.....	中村恒矩	四	二五
克蘭ストウン著『ジョン・ロック 一つの傳記』.....	中 川 學	四	二五
K・A・ウィットフォード著『東洋的デスボティズム——全體主義國家權力（トータル・パウワー）の比較研究——』.....	山田雄三	五	二五
小原敬士譯『經濟理論と低開發地域』.....	山田雄三	五	二五

レオンチエフ著『アメリカ經濟の構造』……………	荒 憲 治 郎	五	六七
R・F・ハロッド著『インフレーション對策』……………	花 輪 俊 哉	五	六七
グロス著『商業における價格拘束』……………	田 内 幸 一	五	六八
ニール・W・チェンバレン著『勞 働』……………	磯 部 浩 一	五	四九
イギリス地方史協會(IV)……………	米 川 伸 一	五	五〇

研究ノート

シンプレックス計算法の能率化について……………	古 瀬 大 六	一	六
資本概念の二重性……………	久 保 欣 哉	一	七

——株式會社法上の「資本」の特殊性——

ノリスの會計理論……………	中 村 忠	一	八
ハインドマン研究おぼえがき……………	都 築 忠 七	一	九
投資の動學的計畫について……………	筑 井 甚 吉	二	一〇
ワーズワスと傳統……………	菊 地 亘	三	一六
ラザーシチエフの文學手法……………	澁 谷 一 郎	三	一七
數值豫報見學記……………	杉 田 元 宜	四	一七
——IBM 704 とそのはたらき——……………			
ホブソンの「社會主義」論について……………	清 水 嘉 治	五	二六
井藤博士の社會政策論體系……………	大 陽 寺 順 一	六	三〇

判例研究

中小企業協同組合法による組合の招集権なき理事の招集した組合 總會の決議の效力……………	松元亘	四	五	三九五
--	-----	---	---	-----

學界消息

ソ連邦科學アカデミーにおける移行期經濟の討論會……………	藤田整	二	三	一九三
------------------------------	-----	---	---	-----

年譜・著作目録

名譽教授井藤半彌年譜……………	井藤半彌	六	四	六六
名譽教授井藤半彌著作目録……………	井藤半彌	六	五	六七五